

問 いずれも計画アンケートの活用は

答 市の課題や施策を整理していく



板倉 克典 議員 日本共産党弥富市議団

問 県の全国順位の低さを受け、子どもの運動能力をどう伸ばすか。

答 **【教育部長】** 運動習慣を身に付けることが大切。大藤小では休み時間を使って運動量を増やす取組を実践し、愛知県学校体育優良校の表彰を受けた。

問 こども計画アンケートをどのように生かすか。

答 **【健康福祉部長】** 貧困対策やヤングケアラー対策など、取り組むべき市の課題や施策を整理していく。

問 公立併設型中高一貫校の開校が、市内の中学校の級編成に与える影響は。

答 **【教育部長】** 現段階では特にならない。

問 中学ブレザー制服のメーカー社指定は、保護者にどのようなメリットがあるか。

答 不慮の事故による破れなどは、メーカー負担で修理できることなど。

問 制服の仕様書を公開し他の業者が製造に参画できるようにする考えは。

答 一社指定を変えることはない。

問 制服ポロシャツを、同等の既製品でも着用可能とする考えは。

答 現時点では考えていない。これまで着用していたカッターシャツの使用も認めている。



▲ブレザー制服

問 不登校の子を支援する決意は

答 関係機関と連携し寄り添う

問 令和5年度末での不登校児童生徒の総数は。

答 **【教育部長】** 小学校57人、中学校83人、合計140人。

問 不登校の理由は。

答 友人関係や不安、無気力、親子の関わり方、生活リズムの乱れなどの報告がある。

問 教育支援センター（アクトイブ）の見学会に参加した市内小中学校の現役教師からどのような話があったか。

答 不登校にはさまざまな理由があり、対応が適切か悩んでいるなど。

問 アクトイブに登録して通学している児童生徒が少ないが見解は。

答 本人や家庭が希望しない場合もある。通うと決めても通うことができない児童生徒も多い。

問 2つ目のアクトイブを

市役所、弥富駅、平島付近など、中心地あたりに設置する考えは。

答 考えていない。

問 学校に通えない子どもたち、不登校の子どもたちを支援していく決意を。

答 **【教育長】** 学校内のチームが関係機関と密に連携し、支援を行っていく。



▲鍋田支所2階・アクティブ